

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
長岡市	三島地区（日吉、脇野町、吉川、天津）	令和3年3月29日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	911.18ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	676.87ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	262.72ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	222.31ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	12.81ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	124.60ha
（備考） <u>三島地区</u> においては、 <u>日吉集落の鳥越の一部を除き圃場整備済みであり、担い手への農地の集積が進んでいる地区である。</u>	

※1④の数値については、アンケート結果に基づく今後の規模拡大面積の合計

2 対象地区の課題

<p>今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、65才以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が多く、新たな農地の受け手の確保が必要であるが、地区全体において、後継者不足を懸念している。</p> <p>・中山間部においては、耕作放棄地、鳥獣被害、圃場の維持管理において課題がある。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

日吉：中心経営体である認定農業者等を中心に担っていく。
脇野町：中心経営体である認定農業者・認定農業法人等を中心に担っていく。
吉川：中心経営体である認定農業者・認定農業法人等を中心に担っていく。
天津：中山間地域直接支払いの協定の中で農地を守っていく。

注1：中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成すること

を想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。